

一般

**平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)**

評価対象事務事業名		大気汚染常時測定事務		事業コード	1419
担当課等	所属名	環境部 環境企画課		担当係名	
	課長名	環境部 環境企画課	担当者名	鈴木 秀一	電話番号

**1. 事務事業の基本情報**

総合計画体系	施策の柱	環境との共生	コード 6	施策	生活環境の保全	コード 1
	基本事業	公害の防止	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 4款 1項 4目 公害防止対策事業(010-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度      ⇒(開始年度 平成7年度～)					
事務事業の概要	市域内の大気の状態及び推移を測定することにより、大気汚染状況を把握する。また、測定結果は大気状況の情報公開や事業場に対する指導の基礎資料とする。					
根拠法令等	大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
大気汚染防止法が平成7年に政令委任されたことにより、測定を開始した。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
大規模な大気汚染は市内ではなく、特に要望は寄せられていない。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
現在、盛岡市では大気における環境基準はほぼ達成されているが、将来、大気についてより厳しい環境基準や測定項目が設定されると予想され、継続して監視を行う必要がある。						

**2. 事務事業の実施状況(Do)**

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市域の面積	単位	平方キロメートル
			B. 人口	単位	人
			C. 事業場数	単位	事業場
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 大気汚染測定地点数	単位	地点
			B. 大気汚染測定項目数	単位	項目
			C. HP・広報への掲載、環境報告書の発行、国・県への報告回数	単位	回
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 環境基準達成率 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	%
			B. HP・広報・環境報告書への発行・掲載回数、国・県への報告回数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	回
			C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	大気の定点観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(単位: %) 水質の定点観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(単位: %) 騒音の定点観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(単位: %) 振動の定点観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(単位: %) 臭気の観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(単位: %)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	市域の面積	平方キ ロメー トル	886.47	886.47	886.47	886.47	886.47	886.47	26年度 886047
対象 指標B	人口	人	297592	297267	297267	298148	298148	298148	26年度 298148
対象 指標C	事業場数	事業場	15757	15757	15757	15757	15757	15757	26年度 15757
活動 指標A	大気汚染測定地点数	地点	2	2	2	2	2	2	26年度 2
活動 指標B	大気汚染測定項目数	項目	13	13	13	13	15	15	26年度 15
活動 指標C	HP・広報への掲載、環境報告書の発行、国・県への報告回数	回	23	23	23	23	23	23	26年度 23
成果 指標A	環境基準達成率	%	99.4	99.4	100	99.7	100	100	26年度 100
成果 指標B	HP・広報・環境報告書への発行・掲載回数、国・県への報告回数	回	23	23	23	23	23	23	26年度 23
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	10,746	5,708	8,331	5,819	9,109	9,109	*****
財源 内訳	④国	千円	3,276						*****
	⑤県	千円	10						*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	7,460	5,708	8,331	5,819	9,109	9,109	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	10,746	5,708	8,331	5,819	9,109	9,109	*****
	延べ業務時間数	時間	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	17,146	12,108	14,731	12,219	15,509	15,509	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	<p>① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？</p>	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 大気汚染防止法に基づく事務であり、市内の大気汚染状況を把握することで大気汚染防止対策の基礎資料となっている。
	<p>② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？</p>	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	<p>③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？</p>	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	<p>④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？</p>	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	<p>⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？</p>	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 大気汚染の常時監視が目的であり、現状の測定項目が必要最小限(平成17年度に大気測定局数を見直し、5局から2局に減らしている。)の監視体制、監視項目で実施している。
	<p>⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？</p>	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 大気汚染状況の把握ができなくなる。
	<p>⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？</p>	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: クリーンセンターによる大気常時監視事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input checked="" type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない その内容: クリーンセンターが実施している大気常時監視測定データの共有
効率性評価	<p>⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？</p>	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 平成17年度に測定局数を削減済みである。また、新たに環境基準が設定された項目については監視体制を整備したが、事務処理基準に示されている全ての監視体制を整備しているものではない。
	<p>⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？</p>	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 測定機器の保守管理を委託しており、職員が行う業務はデータの確定処理、評価等に限られた必要最小限の業務のみである。
公平性評価	<p>⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？</p>	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	<p>⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？</p>	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 大気汚染防止法第22条により常時監視が義務付けられているので、市が負担すべき事業である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)                  ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること                  微小粒子状物質に係る環境基準の設定がなされたため、監視体制を整備したが、成分分析の実施について検討が必要である。                  玉山区内では測定を実施していないため、玉山区内にあるクリーンセンター測定データを市北部地域の測定値として共有し活用する。なお、クリーンセンターが実施している測定は、施設建設時に地元との協議で義務付けられているものである。</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか?                  (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む)                  平成17年度に測定局の統合を行い最低限の監視体制で実施しているが、測定機器が耐用年数を迎えており更新が必要である。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ② 有効性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ③ 効率性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ④ 公平性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)                  現状の測定とクリーンセンターのデータ収集により事務を行う。</p>					
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携                 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容                  現状の測定とクリーンセンターとの連携を継続して実施する。</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携					
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止						